

牧野改良事業会計

区 分	予算額	決算額	比較	区 分	予算額	決算額	比較
歳 入	1,597	1,567	△ 30	歳 出	1,597	1,567	△ 30

基本財産蓄積合計

区 分	予算額	決算額	比較	区 分	予算額	決算額	比較
歳 入	4,280	4,288	8	歳 出	4,280	4,280	0

2. 町税の徴収実績

税 目 別	調定額	収入額	徴収率	一世帯当り税額	町民一人当り税額
直接納める税金	千円	千円	%	円	円
町 民 税	5,544	5,010	90.4	2,254	415
固定資産税	11,317	9,575	84.6	4,308	793
軽自動車税	283	243	85.9	112	20
旧法による税	19	8	42.1		
計	17,163	14,836	86.4	6,674	1,228
間接に納める税金					
たばこ消費税	2,057	2,057	100.0	925	171
電気ガス税	1,583	1,583	100.0	712	131
木材引取税	3,382	3,350	99.1	1,507	277
納付金交付金	2,709	2,709	100.0	1,219	224
計	9,731	9,699	99.7	4,363	803
目的税 国民健康保険税	7,344	5,814	79.2	2,615	481
合 計	34,238	30,349	88.6	13,652	2,512

3. 性質別歳出内訳

普通会計（国保会計、診療施設会計を除く）昭和35年度決算歳出を性質別に分類すると次のとおり。（単位 千円）

性 質 別	決 算 額	構 成 比	町民一人当りの額
1. 人 件 費	19,750	24.8%	1,635円
1. 議員委員等報酬手当	1,333	1.7	110
2. 町長外職員の給与	11,540	14.5	955
3. 町長外職員の諸手当	4,210	5.3	349
4. 恩給共済組合等負担金	1,984	2.5	165
5. その他の人件費	680	0.8	56
2. 物 件 費	20,065	25.2	1,661
1. 旅費、費用弁償	2,249	2.8	186
2. 賃 金	439	0.5	36
3. 交 際 費	1,130	1.4	94
4. 消 料 品 費	1,806	2.3	150
5. 食 糧 費	2,585	3.3	214
6. 印刷製本費	747	0.9	62
7. 光 熱 水 費	320	0.4	26
8. 通信運搬費	630	0.8	52
9. 備 品 費	2,943	3.7	244
10. その他の他	7,216	9.1	597
3. 維持補修費	2,022	2.5	167
1. 土木施設	1,609	2.0	133
2. 建 物	413	0.5	34
4. 扶助費、補助費等	6,116	7.7	506
5. 普通建設事業費	22,563	28.4	1,867
6. 災害復旧事業費	832	1.1	69
7. 失業対策事業費	1,539	1.9	127
8. 公 債 費	5,239	6.6	434
9. 積 立 金	126	0.2	10
10. 繰 出 金	1,300	1.6	108
合 計	79,552	100.0	6,584

昭和35年度の主な事業とその財源（単位 千円）

事 業 名	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	寄付金	特定財源	一般財源
消防施設整備事業	425	60	60		120		185
三里、鎌沢橋土質調査事業	470						470
都市計画事業	7,837	3,780		2,000			2,057
災害復旧土木事業	832	411			100		321
合川中学校建築事業	3,499						3,499
南、東中教室整備事業	2,192						2,192
失業対策事業	1,539	715					824
農業振興対策事業	997		325		11		661
酪農振興対策事業	2,656	129	714		1,225		588
基本財産造成事業	1,008		130			674	204
営林署布地購入事業	3,479					3,479	
計	24,934	5,095	1,229	2,000	1,456	4,153	11,001

わが町の財政白書

昭和35年度決算の概況

町では、財政報告の作成及び公表に関する条例第一条の規定にもとづいて、昭和三十六年度上半期における町の財政事情を公表した。これまで毎年二月と、八月の二回、町の台所のやりくりと町政の進む方向を示すいわば財政白書を発表し、町民皆なさまのご批判とお一層のご協力を願ひしようにするもので、この程発表された内容は昭和三十五年決算概況と昭和三十六年度決算概況とを併せて紹介する。本号では、昭和三十五年決算概況を中心として紹介する。

昭和三十五年は合併以来四年振りに財政再建整備団体から健全財政に立ち直った第一年度であり、再び赤字団体に逆行しないよう、特に消費的臨時経費の節約をはかり、重点的経費の使用によって住民福祉の向上をはかってきたものである。

1. 昭和35年度決算の概況

①一般会計の決算

歳入は長期的な計画のある予算の編成にあたり、町税は皆さまのご協力によって優秀な収納率をあげ、歳出では住民の福祉向上をはかる投資的経費と一般経常費を除く消費的経費の節約につとめ予算より781千円の節減ができ、歳入歳出 差引1388円の黒字をえたのであります

歳入総額 7,959千円 歳出総額 78,202千円 差引残額 1,388千円

（単位 千円）

歳 入		歳 出					
款 別	予算額	決算額	比 較	款 別	予算額	決算額	比 較
町 税	24,110	24,535	425	議 会 費	2,541	2,541	—
地 方 交 付 税	31,570	31,570	—	役 場 費	15,448	15,448	—
財 産 収 入	6,956	7,109	153	消 防 費	2,508	2,452	△ 56
分担金及負担金	827	759	△ 68	土 木 費	10,937	10,883	△ 54
使用料手数料	524	598	74	教 育 費	15,570	15,547	△ 23
国庫支出金	3,288	3,450	162	社 会 労 働 費	5,959	5,857	△ 102
県 支 出 金	6,973	6,819	△ 154	保 健 衛 生 費	759	737	△ 22
寄 付 金	587	576	△ 11	産 業 経 済 費	5,267	5,080	△ 187
繰 越 金	1,212	1,212	—	財 産 費	5,232	5,215	△ 17
雑 収 入	936	962	26	統 計 費	277	262	△ 15
町 債	2,000	2,000	—	選 挙 費	377	375	△ 2
				公 債 費	5,251	5,239	△ 12
				諸 支 出 金	8,803	8,566	△ 237
				予 備 費	54		△ 54
計	78,983	79,590	607	計	78,983	78,202	△ 781

②特別会計の決算

国民健康保険特別会計は計画どおり自主財政再建を完了し、合併後初めて均衡ある決算をみる事ができ、これは累年増える保険給付額に対して保険税の増額と大巾な国庫支出金の助成によるものである。診療施設特別会計は施設の合理的な運用を計るため北分院を出張診療に切り換え、経費の節減に努めたので単年度赤字を912千円に縮減されている。

国民健康保険会計

歳入合計 13,787千円 歳出合計 13,218千円 差引残金 569千円

歳 入				歳 出			
款 別	予算額	決算額	比 較	款 別	予算額	決算額	比 較
保 險 税	6,157	5,814	△ 343	役 場 費	1,845	1,845	—
財 産 収 入	3	—	△ 3	保 險 給 付 費	11,220	9,856	△ 1,364
手 数 料	301	331	30	保 險 施 設 費	669	669	—
国 庫 支 出 金	7,547	7,240	△ 307	財 産 費	—	—	—
繰 入 金	500	300	△ 200	公 債 費	150	90	△ 60
雑 収 入	135	102	△ 33	諸 支 出 費	759	758	△ 1
				予 備 費	—	—	—
計	14,643	13,787	△ 856	計	14,643	13,218	△ 1,425

診療施設（病院）会計

歳入合計 13,959千円 歳出合計 15,820千円 差引不足額 1,861千円

歳 入				歳 出			
款 別	予算額	決算額	比 較	款 別	予算額	決算額	比 較
診 療 収 入	12,279	12,531	252	施 設 費	13,657	13,657	—
診 療 外 収 入	259	291	32	財 産 費	108	108	—
雑 収 入	183	137	△ 46	公 債 費	140	107	△ 33
財 産 収 入	2,187	—	△ 2,187	諸 支 出 金	2,000	19,48	△ 52
繰 入 金	1,000	1,000	—	予 備 費	3	—	△ 3
計	15,908	13,959	△ 1,949	計	15,908	15,820	△ 88

合川中学校建築会計

区 分	予算額	決算額	比較	区 分	予算額	決算額	比較
歳 入	3,500	3,500	—	歳 出	3,500	3,499	1